

# 2023 年度 外国人留学生後援会実施事業報告書



# 目次

1. 生活資金の貸付について .....	1
2. 外国人留学生後援会奨学金について .....	1
3. 留学生住宅総合補償加入金の補助について .....	1
4. 新入留学生歓迎会の実施について .....	2
5. 留学生研修旅行の実施について .....	4
6. 留学生研修旅行レポート .....	5
チャン クイン ガー／ホアン ティ トゥエット／ヴォ ロン クエン／グエン ティ トゥ フォン／ラ インシ／グエン ティ フーン／シ チョウヨウ／ ゴ カラク／リン ウエイ シュン／モレイラ ホーザ アンドレ／ミロシェヴィッチ ネヴェナ／ミロシェヴィッチ ヨヴァナ／ゴ コウ／ヨウ ウセイ／ チョウ カイチ／ギュウ テンシ／コウ カキ／オウ カイ／リ ギョウライ／ハリス ハーリー／コレモント トム／カラカス エムレ／ デサコ テイモン／ガトマン アートウア／ヤロチキン アンジェリーナ／ヒュッメリヒ マライケ ソエ／ファルカシュ キツティ／ ポットブロック ヨーナス／カルドシュ ソルターン／ト シザイ／バ トウケン／ザファール ウスマン／ホッセン イクバル／オウ ヤフィ／ 山崎 愛奈(引率補助)/南 弥恵(引率補助)	
7. 2023 年度の会費収入と使途について .....	73



留学生研修旅行の様子（日光東照宮・陽明門にて）



## 1 生活資金の貸付について

臨時に資金が必要となった留学生 1 名に、5 万円の生活資金の貸付を実施しました。貸付金はすべて年度内に全額返済されました。

## 2 外国人留学生後援会奨学金について

2023 年度の奨学生を募集しましたが、申請がありませんでした。なお、規約の改正に伴い、2024 年度からは当該奨学金の支給がなくなりました。

## 3 留学生住宅総合補償加入金の補助について

留学生住宅総合補償制度を利用して、アパートに入居した留学生 4 名に対し、加入金の補助（3,000 円〈補償期間 2 年間〉× 1 名、1,500 円〈補償期間 1 年〉× 2 名、750 円（補償期間半年）× 1 名）を実施しました。



上から  
飯坂フィールドワークにて  
文化遺産 矢吹家住宅にて  
わらじ踊りにチャレンジ

## 4 新入留学生歓迎会の実施について

今年度は春と秋に新入留学生歓迎会を実施しました。

### 【春の留学生歓迎会】

前期新入留学生の歓迎会が 2023 年 5 月 17 日(水)に L4 教室で開催され、学生・教職員約 100 人が参加しました。企画、司会進行を担当する COLORS から歓迎の言葉に続いて、参加した新入留学生 17 名が自己紹介を行いました。出し物として剣道部とチアダンスサークル～PeachGraffiti～による演技が披露され、最後にお菓子のプチギフトを参加者に配布しました。

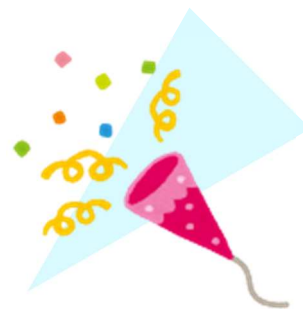






## 【秋の留学生歓迎会】

後期入学留学生の歓迎会が2023年11月14日(火)にL4教室で開催され、学生・教職員約60人が参加しました。企画、司会進行を担当するCOLORsからの歓迎の言葉に続いて、新入留学生23名が自己紹介を行い、名前や出身国の他、好きな日本食や留学中にやってみたいことなどを紹介しました。出し物として書道部によるパフォーマンスと居合道部による演技が披露され、最後は参加者全員での記念撮影後にお菓子のプチギフトが配布されました。



## 5 留学生研修旅行の実施について

留学生研修旅行が2024年1月27日（土）に実施され、留学生34名が参加しました。

福島駅に集合し、バスで出発した一行は、サービスエリアで昼食をとったあと、最初に日光東照宮を訪れました。陽明門をはじめ、三猿や眠り猫など、見どころがたくさんある東照宮では、留学生たちは記念撮影をしながら、日本屈指の歴史的観光地を堪能しました。

その後、磐梯日光店で休憩をとり、足利フラワーパークを訪れました。約500万球のイルミネーションに彩られたパーク内では、留学生たちは思い思いにその絶景を写真に収めていました。

最後にサービスエリアで夕食をとり、一行は帰宅の途に就きました。



### 日光東照宮(栃木県日光市)



陽明門前で記念撮影



眠り猫を見上げる



車内も和気あいあい

### 足利フラワーパーク(栃木県足利市)



パーク前で記念撮影



水面に映る幻想的な光



美しさにうっとり



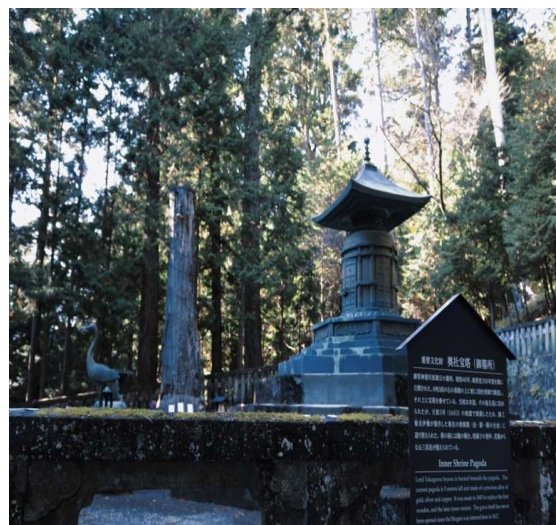


### 研修旅行の感想文

氏名：チャン クイン ガー

今回の研修旅行は日光東照宮と日本三大イルミネーションに訪ねる機会をいただき誠にありがとうございました。これから、私の感想を致します。

まず、自然が見える目的、日光といえば、日本の文化や美しい自然、建造物が思い浮かびますので、機会があれば絶対に訪れなければなりません。さらに、この機会は各国の学生たちにもいますので、みんなと友達になれると思います。日光に到着してから、山や滝、そして林に驚かされました。



最初に、私たちは「日光東照宮」に行きました。このお寺は江戸時代から存在しています。1 番目の写真は陽明門です。この門には子供から大人までの神様に関する模様が彫刻されています。隣には仏教の 5 つの要素のお寺：(下から上へ) 土地、水、火、風、空が建てられています。最後の写真は日本一の侍である徳川家康の墓です。そして、「眠り猫」という場所もあります。静かな場所で、平和な世界という意味を体感しました。素晴らしい記念を保存するために、皆んな「日光東照宮」の前に集まって、写真を撮りました。





次に、日本三大イルミネーションです。日本三大イルミネーションで「一番多くの写真を撮った人にはお土産があります」というコンテストを行いましたので、たくさん写真を撮りました。私の想像以上に、ここはとても美しいです。写真を見ると、その美しさが全く伝わらないので、機会があれば、誰もが一度は日本三大イルミネーションに行くべきだと思います。





帰りの途中で、雰囲気が面白いところに立ち寄り、カラオケがありました。特に、William 先生から様々な写真を楽しませてもらいました。



この研修旅行を通じて、日本の江戸時代の文化を学び、新しい友達ができ、期末試験の前に心が軽くなりました。先生のご支援に心から感謝します。

## 日光東照宮についての研修旅行感想文

ホアン ティ トゥエット

国際センターの先生に行われた研修旅行に参加させていただき、ありがとうございました。昔から日光東照宮を知っていますが、今回栃木県に訪れて、先生は日光東照宮だけではなく大人気イルミネーションも連れて行きました。初めて、あまりに綺麗なイルミネーションが見られました。私だけではなく参加者は全員がすごく、楽しかったです。

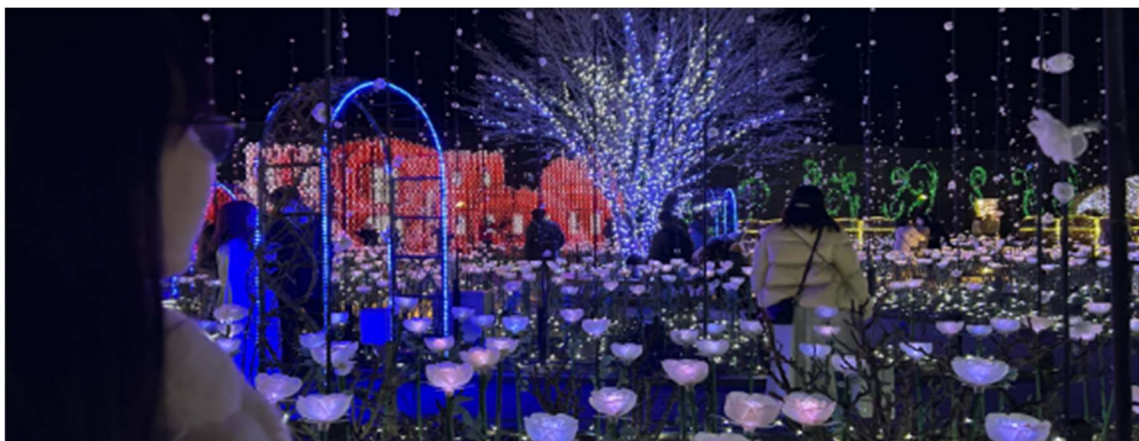
日光東照宮は日本の栃木県にある歴史的な神社であり、徳川家康を祀った建設です。この神社は日光の美しい自然環境に囲まれており、自然と調和した空間が心を落ち着かせます。

訪れたとき、まずその壮大な建築物に圧倒されました。特に立派な鳥居や重厚な本殿は、歴史と格式を感じさせます。



日光東照宮は歴史と文化が示す素晴らしいところであり、訪れる価値があると感じました。自然と歴史が融合した景観は心に印象を残しました。

イルミネーションは本当に美しかったです。特に冬の季節に、寒い空気の中で明るい色彩と輝きが広がる様子は心を温かくし、幸せな気持ちにしてくれました。光のディスプレイが建物や樹木を美しく飾り、ロマンチックな雰囲気を醸し出しました。イルミネーションは自然の美しさと技術の融合で私に素晴らしい体験を提供してくれました。





## 先月の研修旅行の感想文

氏名：ヴォ ロン クエン

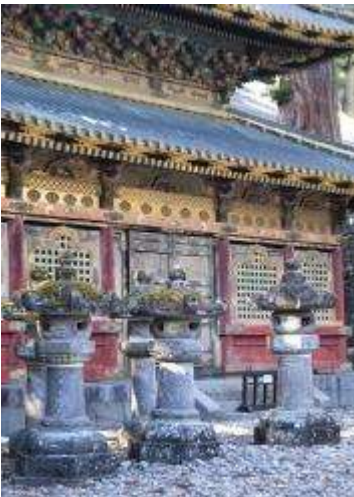
まず、今回の研修旅行は日光山 東照宮と光の花の庭フラワーファンタジーを訪ねる機会を得ることが出来ましたことを感謝いたします。

最初、自分の目的としては日光山 東照宮の美しい自然環境や歴史的な建造物を訪れて、日本の文化や歴史に触れることと新たな経験を感じることです。日光山東照宮に入ったら、見たことがない光景いっぱい目に入りました。巨大な杉の木々が青々と茂り、その間に佇む古い建造物は歴史の重みを感じさせます。



外の光景を見たら、仏教のお寺だろうなと思いました。入ってみると神仏であるが日本の建築で建てたお寺だと感じました。そして、眠り猫というところがあって、寝ている子猫がいたと思いつつ訪ねてみましたが、とっても静かなところで、これは猫が寝ているからこそ、雀たちは穏やかに遊ぶことが出来る平和な世界が広がっている、という示唆ではないかと言われていることを知りました。

日光山 東照宮の建築は、単なる建物ではなく、日本の歴史や文化だと感じられました。とっても印象的でした。最後にみんなで一緒に写真を撮りました。素晴らしい旅でした。





次は光の花の庭フラワーファンタジーです。

ウィリアム先生は写真コンテストを行なって、一番いい写真を撮った人にプレゼントをあげる。そこでみんなは面白く、綺麗な写真をたくさん撮れました。見たことがないイルミネーションを見てとても感動でした。残念なことは時間が短いので、もっと歩きながら見たいと思います。庭に入る前に素敵なお店があって花やお土産、かわいいものがたくさん並んでいました。

この研修旅行を通じて、私は新たな視点や価値観を得ることができました。日光山 東照宮では、歴史と伝統の尊さを感じ、心の静けさを取り戻すことができました。そして光の花の庭フラワーファンタジーではひとと自然の混ざり合うことで素晴らしい光景を作り出すことが出来ることをすごく感動しました。



## 1 月 27 日の留学生研修旅行の感想文

名前：グエン ティ トゥ フォン

今回留学研修旅行の貴重な機会をいただき、ありがとうございました。この旅を通して感想文を述べさせていただきます。

まずは日光東照宮に訪ねてきました。ちょっと寒い中みなさんと楽しく話しながら、神社に入り、いい写真もいっぱい撮れました。





入ったら、日光東照宮の壮大な門と鮮やかな彫刻に圧倒されました。旅行者がたくさんいましたが、厳かな雰囲気が漂い、その中で神聖な気配を感じました。特に眠り猫でした。そこで素敵なお守りも手に入りました、とても楽しかったです。

高い階段を登ったら、静かなところにある神社で、すごい建物でした。



次にずっと前から行きたかったあしかがフラワーパークにやっと思行けました。本当にありがとうございます。

パークに入る前にとっても可愛いものや植物が並ばれていて、全部を買いだいたいぐらいでした。美しい花々や植物の中で心を癒す時間を過ごしました。



庭園を歩きながらたくさんの写真を撮って、LINEにあるみなさんのグループにも投稿してしました。イルミネーションと植物を合わせて、この庭園をデザインした人は素晴らしい人だと思いました。人と人の繋がる環境を作った上で、人を幸せに過ごさせるではあるかと思いました。

今回の研修を通して、自然や歴史に触れることができ、本当にいい経験ができたと思います。また、このような旅行ができる機会があったらぜひ参加したいと思います。企画してくれた先生方に感謝いたします！



## 留学生研修旅行レポート

学類：経済経営学類

学年：四年

氏名：羅 韻之（ラ インシ）

留学生旅行で訪れた日光は、私の心に深い感動を与えました。そこに広がる美しい自然は、まるで絵画の中に迷い込んだようでした。特に印象的だったのは、日光の東照宮にある「三猿」と呼ばれる像です。この像は、目を閉じている猿（見ざる）、耳をふさいでいる猿（言わざる）、口をふさいでいる猿（聞かざる）の三匹の猿が描かれています。これは、悪口を聞かない、悪口を言わない、悪いことを見ないという意味を持っています。この三猿の姿には、深い教訓が込められており、私に色々な考えさせられる要素があります。

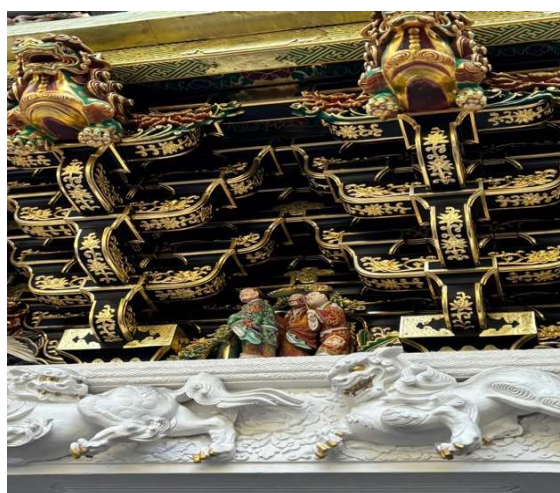
まず、目を閉じている猿は、悪いことを見ないという意味です。これは、他人の欠点や過ちを見ても指摘するのではなく、自分の心を清らかに保つことの重要性を教えています。耳をふさいでいる猿は、悪口を聞かないという意味であり、他人の悪口や批判に耳を貸さず、自分の信念を貫く強さを示しています。そして、口をふさいでいる猿は、悪口を言わないという意味であり、他人を傷つけるような言動を避け、優しさや思いやりを持って接することの大切さを示しています。

これらの教えは、日常生活においても大変重要であり、他人との関わり方や自己管理に役立つ智慧です。この三猿の教えを心に留めておくことで、より良い人間関係を築き、心豊かな生活を送ることができるでしょう。私はこの三猿の像に出会ったことで、自己啓発や人間関係について考えるきっかけとなりました。





また、日光での旅行中には、今まで知らなかった天海大僧正という歴史的人物についても学ぶ機会がありました。天海大僧正は、徳川家康の側近として活躍し、日本の仏教界に大きな影響を与えた人物です。彼の生涯や功績に触れることで、当時の社会背景や価値観を考えるきっかけとなりました。彼の教えに触れることで、当時の人々がどのような信念を持ち、どのように生きてきたのかを垣間見ることができました。



夜には足利フラワーパークを訪れ、日本三大イルミネーションの一つである光のイベントを楽しむことができました。園内は数多くの光で彩られ、まるで異世界に迷い込んだような幻想的な空間が広がっていました。特に、花々が美しく照らされた光景は、まさに圧巻でした。花々が放つ優雅な輝きは、心に深い感動を与え、一瞬一瞬が幸せで満たされるような気持ちにさせてくれました。この光のイベントは、一日の疲れを癒すのに最適な場所でした。日中の観光や学びの体験を終えて、夜の足利フラワーパークでゆっくりとした時間を過ごすことで、心身ともにリフレッシュすることができました。



コロナの影響で日本各地を訪れることができず、大学生活も終わりましたが、今回の旅行は大学生活の最後にとっても特別な思い出となりました。自然の美しさや歴史の重み、友達との絆、そして幻想的な夜景—すべてが私の心に深く刻まれました。これからも、このような素晴らしい経験を通じて、世界中の人々と日本の魅力を共有していきたいです。



## 日光東照宮・あしかがフラワーパーク

### 研修旅行レポート

グエン ティ フーン

国際交流センターの皆様、いつもお世話になっております。この度日光東照宮・あしかがフラワーパーク研修旅行に参加させていただき、ありがとうございます。お陰様で素晴らしい一日を過ごすことができました。天気も良くて綺麗な写真がたくさん撮れました。

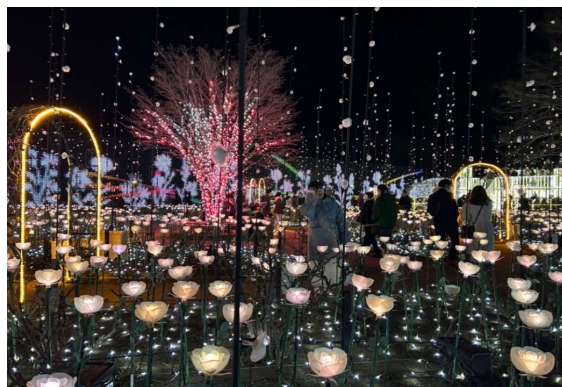
最初に世界遺産の日光東照宮へと至る参詣道に大きくて高い杉の木が植えられていて、とても綺麗でした。インターネットに載せてある写真を事前に見たのですがやはり実際に見た方が素晴らしい景色でした。

眠り猫へ行くための階段が本当に高くて長いため、息苦しくなったが可愛い猫を見たらまた元気が出ました。





そしてあしかがフラワーパークについてこれまで一番素晴らしいイルミネーションが見ることができて、とても嬉しかったです。



研修旅行日があっという間に過ぎていたのですが忘れられない素晴らしい一日が印象に残りました。この研修旅行の旅費をご支援頂いた皆様、企画して頂いた皆様、そして同行して頂いた皆様に感謝しております。お陰様で素敵な一日を過ごすことができました。

今後ともよろしくお願い致します。

## 栃木県での国際旅行の感想文について

シ チョウヨウ

今回、国際交流センターの先生により、国際旅行を行いました。今回の目的地は日本で有名な東照宮とフラワーライトというところです。

### ・東照宮での感想

東照宮は、日光の中でも特に印象深い場所でした。鳥居をくぐると、立派な石段が続いて、その先には神社が広がっています。社殿の彫刻や飾りは非常に細かく、歴史を感じさせたものでした。



特に三猿や眠り猫の彫刻など、特別な文化や信仰が反映されている部分が興味深かったです。また、東照宮からの眺めも素晴らしく、周囲の自然に溶け込んだ景色が心に残りました。このような歴史と自然が一体になった場所は、日本ならではの私はずごく感じました。



#### ・フラワーライト

フラワーライトでの花は美しく、幻みたいな雰囲気を感じました。まるで夢の中にいるような気がします。特に印象深かったのはそのお城の建物でした。色のデザインがすばらしかったです。そのフラワーライトを見ることによって、普段の騒がしい気分を忘れて、その美しい花の海に静かに溶け込んだような気持ちはずごく強かったです。



## 日光旅行

呉 佳洛

412370006

2024 年 2 月 20 日

先月 27 日に福島大学の留学生研修旅行に参加しました。私たちは栃木県の日光市を訪れ、これは私にとって 2 度目の日光旅行でした。初めての日光旅行では中禅寺湖を訪れ、その青々とした風景に心を奪われました。今回の旅行では、東照宮を訪れました。以前に東照宮を訪れたことがなかったので、世界各国の留学生たちと一緒に東照宮を訪れるのは新しい体験でした。東照宮は歴史的な建築物であり、その壮大なスケールに圧倒されました。鮮やかな彫刻や美しい庭園は、日本の歴史と文化を感じさせました。



私は栃木県に特別な気持ちを持っています。日本に来たばかりの頃、栃木県で 1 年近く過ごしました。初めての日光旅行は夏でしたが、今回は冬で、景色がまったく異なりました。日光の四季はそれぞれ異なる景色を見せてくれます。研修旅行ではまず日光東照神宮に到着しました。他の神社とは違う雰囲気、東照神宮は非常に大きく、2 時間ほどかかりましたが、ようやく見学を終えました。

その後、2 つ目の目的地である栃木県足利市のフラワーパークに行きました。足利市には前も訪れたことがあり、夏には花火大会を見に行きました。フラワーパークは有名で、夏には花が咲き誇り、カラフルなラ

イトと共に美しい景色を楽しめます。残念ながら今回は冬で、ほとんどの花が咲いていませんでしたが、ライトアップされた景色も十分に感動的でした。パークの広さは非常に大きく、各エリアには異なるライトショーがあり、ディズニーランドのような城があります。私たちはフラワーパークで 1 時間半を過ごしましたが、まだまだ足りませんでした。次回は夏に花が咲く時期に再訪したいと思います。



今回の研修旅行はとても楽しかったです。留学生仲間との交流や新しい場所の発見は、私にとって貴重な経験でした。日本の文化や風景に触れることができ、心に残る思い出となりました。

## 研修旅行感想文

リン ウェイ シュン

まず、今回の旅行に関わった方々に感謝を申し上げます。こんなお得な値段で日光とフラウワーパークまで行くのは想像もできなかった、ありがとうございます、参加できてよかったと思います。

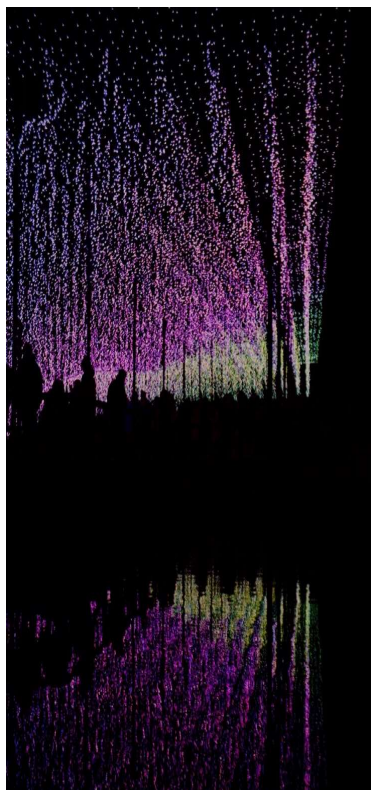
旅行当日は運が良くって、いい天気だった、僕はいつも晴れ男と呼ばれるから運がいいじゃなくって、当たり前のことかもしれない。日光は一回行ったことあるが、僕にとって旅行は「行き先」より「誰と行く」の方が大事と思うので、かなりワクワクした。

長い運転の後、日光に着き、懐かしい景色を見ながら、研修を始めた。今回は前回自分できたとき入れなかったエリア（入場料かかるので）に突入する、三つの猿を見て、猫も



見た、かなり新鮮感があった、けど階段が多くて、疲れた。最終的に時間が足りないため神橋の方へ行けなかったが、それはもう大満足だった。

日光の次は足利花卉公園に行く、夜はちょっと寒くなってきたが、花卉公園のイルミネーションはすごく綺麗だった、もし恋人ができたならここに連れてあげたいと思った。



**Document date of creation: 26<sup>th</sup> of February 2024**

**Student: André Moreira Roza**

**Task: Study trip report**

## **Study Tour for International Students at Fukushima University Tochigi Trip Report**

I would like to begin this report thanking the International Center for the opportunity of joining such an amazing trip. The whole Study Tour was really nice and I enjoyed it a lot. We visited the historical sites in Nikko and went to the Ashikaga Flower Park. I had been to both locations previously, however in a different season.

I went to Nikko alone and during summer, so it was really hot and it rained a lot. This time I had the precious opportunity to enjoy it with the other international students and the weather was perfect! Despite being sunny the temperature was perfect. Professor McMichael contributed a lot regarding the historical context of the vicinities, explaining about the background and meaning of the temples and main attractions of the Nikko historical site. It was a really enjoyable tour.

When I went to the Ashikaga Flower park it was the end of spring during day time, so the weather was hot already, but I could see the wisteria flowers in all their beauty and enjoyed it with some friends. This time I enjoyed it with more friends since a lot of students could go. And it was amazing to see the park during the night. The illumination was breathtaking and it mimicked the real flowers, but with lights. It was outstanding and I couldn't stop exploring around. I was glad to be able to have some wisteria ice-cream again (despite the cold weather).

In general it was a remarkable and memorable experience that I will keep with a lot of care. Traveling with the other international students made it special. I would like to express my special thankfulness for the staff members from the International Center that went with the students. I would also like to, once again, thank the International Center as a whole for the opportunity. I will be looking forward to the next trip!

The next page contains pictures from the trip. Pictures description:

1. Toshogu Shrine
2. Torii at the inner part of the Toshogu Shrine area
3. Ashikaga Flower park Illumination
4. Wisteria ice-cream





## Milosevic Nevena

I'm always taken aback how there are so many incredible monuments in all regions of Japan, and Nikko was no exception. From the historically breathtaking Nikko Toshogu Shrine to the Ashikaga Flower Park which was turned into something magical even during a season when flowers don't bloom, I found myself thinking how it's an area that everyone traveling around Japan should see at least once.

The shrine itself felt like it had no corner that wasn't adorned with delicate woodcarvings. Every single construction on the site felt like a monument in itself, from the chandeliers to the gates. I was particularly fascinated by the Roaring Dragon, where clapping two wood blocks under the head of the dragon on the painted ceiling would produce a particular sound. I wonder if the room was built with the acoustics in mind, or was it purely a coincidence. Was the dragon painted before or after the discovery of the curious echo? In any case, it felt like something that was appropriate to experience before the start of the year of the dragon.





Even the numerous woodcarvings all had stories to be told behind them, like the famous sleeping cat carving which represents Tokugawa Ieyasu who is now resting so that the birds can be in peace. It felt like there really was not enough time to properly appreciate every piece of artwork in the shrine for that reason. If given the chance, I would love to learn more about the meaning behind many more peculiarities of the shrine.



Visiting the flower park afterwards quickly hauled me back into the present with the amount of lights decorating the garden which was yet to bloom. We arrived there while the sky was just getting dark so we got to witness how much more magical the scenery became once the night fell. I was amazed at how a flower park could be turned into something so unique during a season when it's mostly dormant. I wish we could have seen the famous wisteria passages, but the illuminations imitating wisteria felt almost just as beautiful. In addition, small ponds scattered across the park that reflected the lights made it feel like I was caught in the middle of a dream.



The mixture of tradition and modernity really made this study tour a unique experience. That is the sort of charm I feel is unique about Japan in general.

## Milosevic Jovana

Before this study tour, I had never visited Tochigi prefecture touristically, and I've only ever passed through it when going to other places. However, I have learned how much I missed by holding back from exploring this history-rich prefecture.

The first stop of this trip was the Nikko Toshogu Shrine. I was immediately amazed by this shrine's size and even more so the art decorating its structure, from the three monkeys, to the sleeping cat. I was also very happy to learn more about the shrine and the art pieces adorning it. I would have never thought that I would ever see the resting place of a big historical figure such as Tokugawa Ieyasu. Even though



there were many other tourists, the nature around the shrine made the atmosphere peaceful and relaxing, even when we had to climb a lot of stairs to reach a different part of the shrine. Regardless, every single step was worth it. I got to buy some of the adorable cat charms that they sell at the shrine. The cat apparently represents Tokugawa Ieyasu, and while the cat sleeps the birds are able to sing and fly, symbolizing his strict rule.

Another art piece that amazed me was the dragon painting on the ceiling of one of the buildings. When you hit two wooden blocks against each other while standing directly under the dragon's head, he sings, but this doesn't happen anywhere else in the room, which made me wonder if they thought about this while building the shrine or was painting the dragon an afterthought. In any case, the result is very fascinating.





Our next destination was the Ashikaga Flower Park. Although it is winter and there weren't a lot of flowers to enjoy, the park was brimming with illuminations which were a pleasure to see at night time, so I really looked forward to seeing them.

We arrived while it was still daytime, so before heading into the park I made sure to explore the gift shop at the entrance of the park. It was filled with cute souvenirs, from snacks to little garden decorations, to decorative plants, which I really loved! I got myself a pair of succulents because I couldn't resist how cute the little pots they were in were.

After we were done exploring the shop, we headed out to the park, and despite it only starting to get dark, the illuminations were already stunning. I was determined to explore every nook and cranny of this park because everything was set up so beautifully. The colors and arrangements drew me to every single part of the park, and at some point I was so amazed by everything I forgot where I was going.

Finally, when night set, the illuminations could glow in their full glamor, and I became even more mesmerized with the many illuminated paths. I especially loved the way they replicated the wisteria flowers in place of the actual wisteria trees, since they were out of season. And there were so many of these paths, and each one of them was as stunning as the one before. Another thing that I feel really enriched the illuminations was the presence of ponds, which reflected the lights at every corner of the park. They also had illuminations specifically made to be in water, imitating a pond of lilies. The whole park was a pleasure to see, and I'm incredibly thankful I had the opportunity to do so.



The study trip left me in awe at both the historical art and the modern art of Japan, and it really felt as if I leaped through time that day -- to the past during the Toshogu Shrine visit, and the future during the Ashikaga Flower Park visit.

## 研修旅行の感想文

学籍番号：132170006

名前：呉 昊(ゴ コウ)

朝 8 時 30 分に福島西口で皆と集合しました。先生と挨拶を交わし、名札を受け取ってバスに乗り込みました。バスの中では、皆元気いっぱい挨拶を交わしながら楽しく会話をしていました。そして 8 時 50 分に福島西口を出発し、まずは日光の東照宮に向かいました。途中、サービスエリアで 30 分ほどの休憩があり、皆は買い物をしたり朝食をとったりしていました。再びバスに乗り、昼の 12 時ごろに東照宮に到着しました。皆で写真を撮った後、自由な時間を過ごしました。その日は天候にも恵まれ、清々しい風を感じながら東照宮を巡り、その文化と歴史を深く味わうことができました。

14 時ごろには自由時間が終わり、再びバスに乗って次の場所へ向かいました。目的地は足利フラワーパークで、日本三大イルミネーションの一つです。バスの中ではワクワクした気持ちで到着を待ちました。17 時頃に到着し、日が沈み始める夕暮れの中で美しいイル



ミネーションを楽しみました。しかし、昼間は暖かかったのに夜は寒く、温度差を感じました。そのため、まず園内で夕食を取り、佐野ラーメンや唐揚げ、そしてビールを楽しみました。体が温まり、園内でイルミネーションを存分に楽しむことができました。人々が多かったですが、素晴らしいイルミネーションに感動しました。

19 時になり、バスに戻りました。バスの中では皆でカラオケを楽しみました。福島に戻る頃にはもう 21 時でしたが、卒業前の最後の学校の旅行として、素晴らしい思い出ができました。





I am very happy to have the opportunity to participate in a study trip during my year studying in Japan. We went to the Nikko Toshogu and Ashikaga Flower Park on this trip.

The first one to visit is the Nikko Toshogu , located in Nikko , Tochigi Prefecture. It is also one of the "Three Great Higashi Shrines in Japan" and is dedicated to commemorating Tokugawa Ieyasu, the founder of the Tokugawa shogunate.



There are a large number of animal wood carvings set up within the territory, symbolizing peace, among which "Three Apes" and "Sleeping Cat" are the most famous. In "The Three Apes", the three apes cover their ears, mouth, and eyes with their hands, which means that in childhood, they should not listen, speak, or look at bad things, maintain a pure mind, and grow up healthy.

The front design of "Sleeping Cat" features a cat sleeping next to a blooming peony flower, while the back design features two sparrows playing in the bamboo forest. Its theme is generally believed to symbolize peace.







I gained a lot from this trip and also learned a lot about Japanese history. I am very happy

## 冬の日本を彩る、日光東照宮と足利フラワーパークの旅

チョウ カイチ

最近、雪が降っていなくても、日本の冬は清新で静かな雰囲気を与えます。空気は清新な香りに満ち、温度もちょうどよく、旅行に最適な季節です。

朝早く、私たちは福島西口で集合し、日光東照宮への旅を始める準備をしました。私たちはバスに乗り、シートベルトを締め、途中で歓声と笑い声が響きます。バスの中では、異なる国々からの学生がお互いに交流し、自分たちの旅行経験や期待を共有しています。目的地に到着すること



を楽しみにしている人もいれば、バスの中で栃木県買った特産品を楽しんでいる人もいます。そして、静かに窓の外の景色を楽しんでいる人もいます。

途中、私たちは高速サービスエリアで少し休憩し、皆が降りて休憩し、食事をしました。地元の美食を味わう人もいれば、特色のある記念品を買う人もいて、旅程をより豊かにしています。

ついに、私たちは日光東照宮に到着しました。この神聖な建築物は厳かで重厚であり、太陽の光が宮殿を照らして、さらに壮大で荘厳に見えます。私たちは宮殿や寺院を見学し、その歴史と文化の重みを感じています。庭園では、静かに浸って心の声を聞いている学生もいれば、カメラでこの瞬間を捉えようとしている学生もいます。



足利フラワーパークは私たちの次の目的地です。園内のほとんどの植物や装飾はライトアップされ、幻想的な雰囲気を醸し出しています。ライトの照らし出す中、私たちは園内を歩き回り、祝祭のような雰囲気を味わい、冬の温かさと美しさを楽しんでいます。ここでの景色は独特で、特に夜には、ライトで飾られた植物や建物が夜空で輝き、見る者を魅了します。私たちはそんな景色に浸り、カメラでこれらの美しい瞬間を記録し、それらを心に永遠に刻みたいと思っています。

最後に、私たちは再びバスに乗り、福島に戻りました。バスの中の雰囲気は変わらず活気があり、誰かが歌を歌ったり、旅行の感想を共有したりしています。旅の出会いのおかげで、私たちの間の距離がより近くなり、お互いのコミュニケーションもより円滑になりました。バスが福島西口に到着

すると、私たちは一斉に降りて荷物を整理しました。別れの瞬間に、私たちは微笑みと感慨を交わし、この旅がたくさんの素晴らしい思い出を残してくれたことに感謝しています。旅は終わりましたが、心に残る幸せと満足は、次に再び出会う時まで私たちを追いかけてくれるでしょう。

この旅の間、私たちは日本の冬の美しさだけでなく、友情と楽しみの真の意味も感じました。皆が旅の喜びと成果を分かち合い、カメラでその美しい瞬間を記録し、日本の冬の独特の雰囲気を心で感じました。



## Travel Report on a One-Day Tour of Nikko

ギュウ テンシ

Nikko Toshogu, as a significant cultural heritage of Japan, is renowned not only for its long history and unique architectural style but also for its rich cultural significance and historical value, drawing visitors from all around the world. Through this trip, I had the opportunity to personally experience and deeply understand the traditional culture and art of Japan, exploring a corner of Japan's history through the historical monument of Toshogu.

Our journey began from Fukushima on January 27, 2024, arriving in Nikkō by bus. The one-day visit included an exploration of the main buildings and sites of Toshogu, an appreciation of the surrounding natural scenery, and the large-scale lantern festival in Tochigi Prefecture.

Upon arrival at Toshogu, the first thing that struck me was the grandeur of its gatehouse. The architecture of Toshogu is complex and full of details, with every carving and decoration displaying the exquisite craftsmanship and boundless creativity of the artisans. The famous "Three Wise Monkeys" sculpture, with its profound implication of "see no evil, hear no evil, speak no evil," provides a deep reflection for the beholder.

Toshogu is not just a cultural landscape; the surrounding natural beauty is equally impressive. Even in winter, Toshogu is surrounded by greenery, with these natural scenes complementing the ancient architecture and displaying a beautiful picture of harmonious coexistence between man and nature.

At Toshogu, we had the chance to get up close and personal with Japanese architectural art and also delved deeper into Japanese culture and history through omikujī fortune-telling. This gave us a more profound understanding of Japanese religious beliefs and ceremonial culture.

In the evening, we reached the large-scale lantern festival in Tochigi Prefecture. The variety of lighting installations and artworks at the festival was dazzling, each piece a crystallization of the artists' labor and creativity. They displayed the charm of light and shadow and conveyed the artists' longing and pursuit for a beautiful life. Bathed in these lights, I felt as though I had stepped into a magical, dreamlike world, with every step filled with wonder.

This trip was not only an appreciation of external landscapes but also an exploration and purification of the inner world. Each stone and tree of Toshogu tells a story of history, and the Tochigi lantern festival showcased the unique charm belonging to Japan. Such

experiences have given me a deeper understanding and insight into Japanese culture and history. This was more than just a trip; it was a dialogue with the soul.





日光東照宮は江戸幕府初代将軍徳川家康の霊廟で、境内には多くの華美な建築と繊細な彫刻があり、日本国宝と日本国の重要文化財に数えられている。その中で私が最も興味を持っているのは以下のいくつかです。

「想像の象」は、上神庫の側面の軒下にある2頭の象の彫刻です。江戸時代の日本には「象」という生物はいなかったもので、この2頭の象の彫刻は完全に作者が想像に基づいて作ったもので、耳、四肢、尾は実際の象とは少し違いますが、想像力ではかなり原型に近づいています。



「三猿」は「見ない、言わない、聞かない」という人生の知恵を表す。神厩舎の正面と側面には8枚の猿の像があり、人の一生を象徴している。その中で最も有名な「三猿」は、目、口、耳を両手で隠し、「見ない、言わない、聞かない」という意味を表し、見ない、言わない、聞かない、悪いことや人の過ちを聞かないように説得するために使われ、深い人生の知恵が込められている。

奥宮への入り口では、見上げると生き生きとした「眠り猫」が見えます。猫のそばには牡丹の花があり、背後にはスズメが2羽いて、猫はスズメの天敵で、眠っているように見える猫はギシギシとしたスズメと平和に共存し、「天下太平」の意味を秘めており、徳川家康が太平の世を開いたことを象徴している。

そしてこの近くには大きな木がたくさんあり、空気が澄んでいます。私たちは薬師堂にも行きました。板をたたくことによる特殊な響きは非常に空っぽだ。

陰陽門もあり、日差しの下で金色に輝いていてきれいです。花や鳥、古典的な人物物語もたくさん彫刻されています。私たちはこれらを見て多くの推測をした。上に牛がいたので、私たちは八仙が海を渡る物語を連想させた。水滸伝の百八好漢を連想させる人物もある。とにかく見ていて少し親切です。



## 栃木県研修旅行感想文

オウ カイ

2024年1月27日、私たち留学生一行は先生の案内で栃木県に研修に行きました。期末が近づき、いろいろな試験に苦しめられている中、みんなと一緒に遊びに行けるのは素晴らしいです！

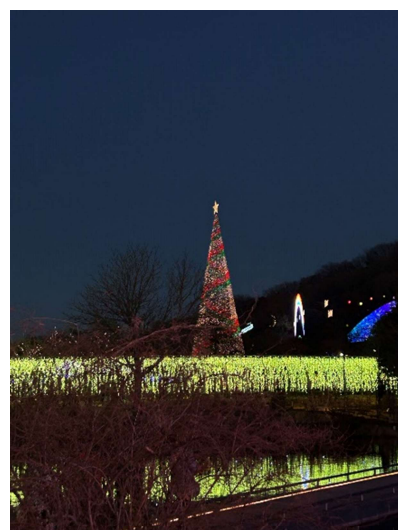
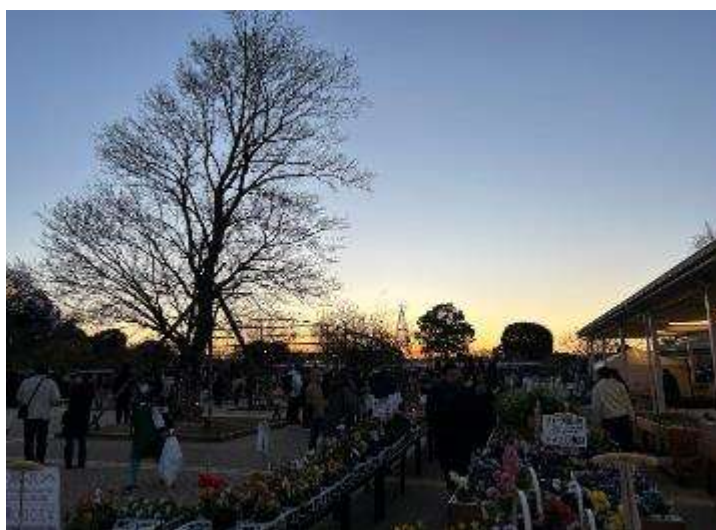
昼近くに研修の最初の地、日光東照宮に到着しました。栃木県日光市にあり、江戸幕府創始者徳川家康を記念して建てられた神社です。1999年に世界文化遺産に登録されました。ここでは三猿、陽明門、眠猫、奥宮宝塔、鳴龍を見学しました。三猿は神厩舎に彫られた、それぞれ目、口、耳を隠した3匹の猿で、それ以外にも他のポーズの猿が多く彫られており、それぞれ異なる意味を表しています。眠り猫は平和を表し、1匹の子猫の左右にそれぞれ1匹のスズメがいるが、子猫は穏やかに眠っているという大きな意味があります。そして私が最も印象に残っているのは、奥宮宝塔への奥社参道で、207個の石段の階



段で、登ってきた人はみな息を切らしていました。立ち止まって呼吸を整えていたところ、ふと東照宮御遺訓と書かれた看板を見ました。「人の一生は重荷負いて遠き道を行くが如し。急ぎべからず。」という遺訓の冒頭の言葉が書かれていました。その言葉を見た瞬間、心が打たれたような気がしました。この速いリズムの社会では、誰もが忙しく前進しており、ストレスによる不安は多くの人に伴い、私も含まれています。人生の後の道で、私はこの言葉を覚えて、「ゆっくりして、焦らないで」と自分に言い聞かせてほしいです。



2つ目の駅は栃木県足利市のガーデンパークに来ました。ここには小さな盆栽やアニメに連名されたグッズがたくさんあります。夜が来て、明かりが灯ると、五色の明かりのショーは私の目にあふれて、とても美しいでした。



バスに戻って、今日の旅が終わったと思ったら、他の学生が突然カラオケを歌い始めました。英語の歌、中国語の歌、日本語の歌…ほんとに楽しかったです。研学の旅は終わりましたが、この思い出は決して忘れません。

## 素晴らしい旅行の思い出

李 曉蕾(リ ギョウライ)

日光東照宮は、栃木県日光市にある、江戸幕府を開いた徳川家康を祀る東照宮の総本社です。「日本三大東照宮」の一つ。内部には数多くの動物の彫刻があり、その中でも三猿と眠り猫が最も有名です。

私のツアーの順番：表門を入れて左に進むと、左側に三猿の彫刻があります。三猿の彫刻が有名だと聞いていましたが、実際に見たことはありませんでした。今、私は日光東照宮に立って彫刻を眺めているのですが、とても興奮しています。まさか自分がここを直接訪れる日が来るとは思ってもいなかったからです。三猿の彫刻を見た後、陽明門まで歩いていくと、日本の伝統的な簡素な寺社仏閣とは異なる複雑さと豪華さを目にすることができます。和風建築のレンガやタイルひとつひとつにこだわりがあります。私はプロの建築家ではないので、建物の豪華さしか見えません。本殿に右から入り、お参りをした後（床がとても冷たい）、眠り猫の絵馬をくぐって奥宮に着きます



（眠り猫御守りは購入できます）。奥宮はとても静かで、奥宮に行くには階段を渡らなければなりませんが、大きな木々に囲まれており、その中を歩くのは体を鍛えるのもできます。奥宮に参拝できるのは徳川家康だけと言われています。歴史上の偉大な人物と同じ空間



間に立つことができ、とても興奮し光栄に思います。奥宮を出て本地堂へ行くと、本地堂の天井には龍の絵が描かれています。龍の口の真下にある木の板を叩くだけで音（こだまのような音）が鳴り、それ以外には何も響きません。

東北地方は車がないと交通が不便なため、旅行を企画してくださった学校にとっても感謝しています。他のところの観光スポットを訪れるには長い時間がかかります。学校主催の旅行を機会に、日光東照宮の豪華さと荘厳さを目の当たりにし、多くのことを学び、私の日本での生活に大きな役割を果たし、とても役に立ちます。

栃木県の印象はイチゴと納豆なので、イチゴ大福とビールを買いました。マグネットも購入しました。



次の旅程はあしかがフラワーパークのイルミネーションです。札幌のイルミネーションは以前見たことがあります。大通公園には、色とりどりの光で満たされた長いイルミネーションがあり、とても衝撃的です。ということで、他のイルミネーションも楽しみにしています。本当に価値のある旅でした。あしかがフラワーパークは、日本三大イルミネーションの一つである、「奇跡の大藤」を中心としたお花見で有名です。イルミネーションと花の組み合わせはとても美しく相性が良いと思います。イルミネーションは自然と組み



合わされています。ただのイルミネーションだと、非常に単調で自然と融合しておらず、魂が無いように感じます。

昼は花や植物を鑑賞して楽しんでいます。夜、ライトを点灯した後、中のライトが重なり、目に光がいっぱいで、とても美しいです。素晴らしいスポットがたくさんあります。

例えば、レインボーマジック

（池の水面に映るのがとても美しいです）、みんなの地球、心の故郷（スクリーンがアニメーションを再生し、地面にスクリーンもあり、エフェクトが出てきます）、フラワーキャッスル（人が多すぎます）、光の藤の花物語（水に映る光の写真を撮るのが大好きです）…。

しかし、人気があるため、イルミネーションを訪れる人が多すぎて、フォトチェックインスポットはどこも人でいっぱいです。それでもイルミネーションはとても綺麗で、今回の旅は大満足です。



## Nikko Toshogu Shrine and Ashikaga Flower Park

ハリス ハーリー

### Nikko Toshogu Shrine

Nikko Toshogu Shrine is recognized by UNESCO - the buildings are beautiful with lots of details and bright colors. I felt like I was stepping back in time and could imagine what life was like in old Japan.

The entrance and the Yomeimon Gate were so cool, with carvings and gold leaf making them extra fancy. The shrine has gardens that are peaceful, and it felt special being there. We also witnessed the 'crying dragon' - a picture of a dragon on the ceiling of a room. When two sticks were hit together at certain points, it made an unusual echo, almost like the sound of a dragon crying. The staff doing the presentation catered to both Japanese and English speakers which allowed me a keener insight into what was going on (due to my beginner level Japanese). This was the highlight of Nikko Toshogu shrine for me.



### Ashikaga Flower Park

After the trip to Nikko Toshogu shrine, we went to Ashikaga Flower Park at night. It's famous for its flowers and has an amazing light show, which is one of the most famous in Japan. When the sun started to set, the illumination really came into its own.



The wisteria tunnels looked like something out of a fairy tale. I hope to come back later in the year to see the real wisteria for myself. I had a great time touring the park with my friends and seeing the many different lights. I think it is a great way to keep the park interesting when it is not prime time for flowers to bloom. Many people were taking photos - it is catering to social media pictures. Many of the photos taken by us on the day were amazing!



## Conclusion

I really enjoyed my trip to Nikko Toshogu Shrine and Ashikaga Flower Park. I gained a better insight into Japan's past, and the flower park at night was very picturesque. This trip made me love Japan even more and appreciate the mix of old and new in its culture.

## Exploring Japanese Heritage and Natural Beauty: My Day Trip to Nikko Toshogu and Ashikaga Flower Park

コレモン トム

### Introduction:

Japan has always fascinated me with its seamless blend of cultural heritage and natural wonders. Recently, I embarked on a day trip to Nikko Toshogu and Ashikaga Flower Park, seeking to immerse myself in the history and beauty these destinations offer.

### Nikko Toshogu:

As I entered Nikko Toshogu, I was immediately struck by the grandeur of the Yomeimon Gate. Its intricate carvings and vibrant colors drew me in, setting the tone for the spiritual journey ahead. Walking through the shrine complex, I marveled at the ornate buildings, each telling a story of Japan's feudal past. The Sacred Stable and the Five-Story Pagoda stood as silent witnesses to history, while the surrounding cedar forests whispered tales of ancient reverence. Nikko Toshogu offered me a profound connection to Japan's rich cultural legacy, leaving me in awe of its beauty and significance.



### **Ashikaga Flower Park:**

Leaving the solemn tranquility of Nikko Toshogu behind, we made our way to Ashikaga Flower Park, eager to be enveloped in a riot of colors. The moment I stepped into the park, I was greeted by an electrical man-made sea of wisteria in full bloom. Wandering through the winding paths, I found myself lost in a world of purple blossoms and delicate scents. The Great Wisteria, with its sprawling canopy, was a sight to behold, casting a spell of wonder over all who stood beneath it. As I explored the park further, I discovered a multitude of other floral delights, each more enchanting than the last. Ashikaga Flower Park was a symphony of nature's beauty, a place where time seemed to stand still in the presence of such splendor.





## Conclusion:

Our day trip to Nikko Toshogu and Ashikaga Flower Park was a journey of discovery and delight, offering me a glimpse into Japan's past and present. From the sacred serenity of Nikko Toshogu to the vibrant beauty of Ashikaga Flower Park, each destination left an indelible mark on my heart. As I reflect on my experiences, I am grateful for the opportunity to have immersed myself in the rich tapestry of Japanese culture and nature. It was a day I will cherish, filled with memories of wonder.

## Study Trip Report: Exploring Nikkō Tōshō-gū and Ashikaga Flower Park

**Name:** Emre Karakas

**Date:** Saturday, 27th January

**Destination:** Tochigi Prefecture

**Duration:** 9:00 a.m. - 9:00 p.m.

### Overview:

Our study trip to Tochigi Prefecture on Saturday, January 27th, was a captivating journey filled with cultural exploration and natural wonders. Departing from Fukushima at 9:00 a.m., our bus journey of approximately three hours was accompanied by breathtaking landscapes and picturesque mountain scenery, setting the stage for an unforgettable day.

### Nikkō Tōshō-gū:

Our first destination was the magnificent Nikkō Tōshō-gū, nestled amidst the mountains. As we entered the temple complex, the grandeur of the massive Torii gates and the iconic five-story pagoda (Goju no To) left an indelible impression. Each level of the pagoda symbolized the five elements of Buddhist beliefs earth, water, fire, wind and void, offering a glimpse into ancient traditions and spirituality. Climbing further up the mountain, we reached the resting place of Tokugawa Ieyasu, the first Shogun of the Edo period, where I also prayed at an ancient Japanese cedar tree, believed to grant wishes if you pray facing the hollow at the side of the tree. I also entered a big shrine where the awe-inspiring Nakiryu, the "roaring dragon" housed, whose presence and roar sent shivers down our spines. Immersing ourselves in the serene atmosphere, we offered prayers at the multiple shrines there and I also bought some Omamori tokens as cherished mementos of our visit.

### Ashikaga Flower Park:

Next up: Ashikaga Flower Park. Even though it's winter, the light displays there were stunning! No real flowers, but who needs them when you've got those beautiful illuminations, right? We took tons of pictures and even had a little photo contest. Can't wait to go back in the spring when everything's in bloom.

### Conclusion:

After a fun day, we headed back to Fukushima, but not without a karaoke session on the bus. Good times! We rolled into Fukushima Station around 9:00 p.m., tired but happy after a day full of adventure, culture, and new friendships.

This trip was a great chance to soak up Japan's culture and natural beauty. From the ancient temples of Nikkō Tōshō-gū to the magical light displays at Ashikaga Flower Park, it was an unforgettable experience that left us eager for more adventures.

### **Pictures from Nikkō Tōshō-gū and Ashikaga Flower Park**







## Exploring Nikko Toshogu: A Journey into Japanese History and Culture

デサコ ティモン



Nikko Toshō-Gu, nestled in the serene Tochigi prefecture of Japan, stands as a testament to the country's rich history and cultural heritage. A day trip to this iconic site in January offers a profound exploration into the depths of Japanese tradition, providing invaluable insights into the essence of the nation. This journey is not merely a sightseeing venture but serves as a gateway to understanding the intricate layers of Japanese history and culture, thus enhancing one's appreciation and comprehension of the country, particularly during an exchange year.

The significance of comprehending Japanese history and culture cannot be overstated when embarking on a visit to Nikko Toshō-Gu. As one of Japan's most revered shrines, it serves as the final resting place of Tokugawa Ieyasu, the founder of the Tokugawa shogunate that ruled Japan for over 250 years. The intricate architecture, vibrant decorations, and serene surroundings reflect the spiritual and political power wielded by the Tokugawa clan during Japan's Edo period. By immersing oneself in the historical context of Nikko Toshō-Gu, visitors gain a profound understanding of the feudal system, hierarchical structure, and religious practices that shaped Japan's socio-political landscape.

Moreover, exploring Nikko Toshō-Gu offers invaluable insights into the cultural intricacies that define Japan. From the meticulous craftsmanship of the Yomeimon Gate to the tranquil beauty of the surrounding cedar forests, every aspect of the shrine embodies the aesthetic principles and spiritual beliefs deeply rooted in Japanese culture. Visitors are invited to witness traditional rituals, such as offering prayers at the haiden (prayer hall) or cleansing rituals at the temizuya (water basin), providing a firsthand experience of Japan's spiritual traditions and customs.

For students spending an exchange year in Japan, delving into the depths of Japanese history and culture is paramount for fostering meaningful connections with the local community and enriching their academic pursuits. Understanding the significance of Nikko Toshō-Gu and its historical legacy not only deepens one's appreciation for Japanese culture but also lays a solid foundation for studying East Asian economics and politics. By grasping the socio-cultural dynamics that have shaped Japan's identity, students gain valuable insights into the country's economic development, political systems, and international relations, thereby enhancing their analytical capabilities and academic endeavors.



In conclusion, a day trip to Nikko Toshogu offers more than just a glimpse into Japan's past; it provides a transformative journey through the annals of history and culture. By immersing oneself in the serene beauty and profound significance of this iconic site, visitors gain a deeper understanding of Japanese traditions, beliefs, and values. For students embarking on an exchange year in Japan, this exploration serves as a cornerstone for fostering cultural understanding, academic excellence, and personal growth on their journey through the Land of the Rising Sun.



## Study Tour for International Students

ガトマン アートゥア

We met at 8:45 at the west site of Fukushima station to start our journey at 9:00. Everybody was a little tired, but halfway through our way to the Nikko Toshogu temple, we had a little break for everybody to go the toilet and buy some food. We continued and after a few hours we arrived at Nikko Toshogu.

Once we arrived, we still had to walk a little way to arrive at the temple. We discussed a time and place to meet up, then everybody was allowed to explore the grounds on their own. There was also the possibility to walk with one of the instructors to get a better tour of the whole place. I walked with a small group of students around and we saw a lot of really detailed architecture. The big gate you can see on the pictures is very stunning. There are also other Buildings, like a 5-story pagoda, a room with a big dragon painted on the ceiling and some paths you can take to see the grave of Tokugawa Ieyasu.

There were a lot of places to make wishes and buy little souvenirs. Definitely, a very beautiful place to go to and to experience when you have the chance.



After the temple, we headed back to the bus, but on the way, we stopped quickly at some stores nearby to get something to eat or more souvenirs. After we arrived, there was another one-hour drive to our destination at Ashikaga Flower Park.

At the entrance of the flower park were a few cute souvenir shops to buy some stuff. And right after those was this big flower park with beautiful illuminations. We arrived right as it got dark,



so we could already see a lot of the lights. We were again given a meeting point to return to and got to explore all on our own. There were beautiful lights and of course a lot of flowers



over a big space. We also were doing a little photography contest, which was quite fun to encourage everyone to take good pictures. Also, there were quite a few food stalls spread over the grounds, with sausages, takoyaki, french fries, churros, and more snacks of the sort. I really liked that there was a lot of



water, so you could see the reflections of the light on the water surface. Combined with little light flowers sticking out of the water, this made for some beautiful scenery.

After a few hours, we were again on our way back to Fukushima station. After a few hours of driving, we had our last stop to go to the restrooms and buy some more food, and after another hour of driving, we finally arrived back at Fukushima station.

It was a very nice trip and I strongly recommend it to all international students. It was not only nice to see the main destinations, but also hang out and make some new friends.



## **Nikko Toshogu and Ashikaga Flower Park by Angelina Jarochkin**

Starting at 9 am at the Fukushima Station we made our three-hour long way to the Tochigi Prefecture. Our first stop was the Nikko Toshogu where Tokugawa Ieyasu is enshrined.

Pretty impressive was the five-story Pagoda and the exact place where Tokugawa Ieyasu remains. The stair way to the remains of Tokugawa Ieyasu is surrounded by beautiful nature. We also had good luck with the weather which was sunny and warm.

The shrine site was big; it would take the whole day to explore everything.



However, we only had a couple of hours to explore the important sites, like the sleeping cat, which was cute. And the meaning behind all of this is also interesting,

which Mr. McMichael provided us with.

Another thing that I find impressive was the roaring of the dragon. Sadly, we couldn't take any pictures of the dragon who looked scary and cool on the ceiling.

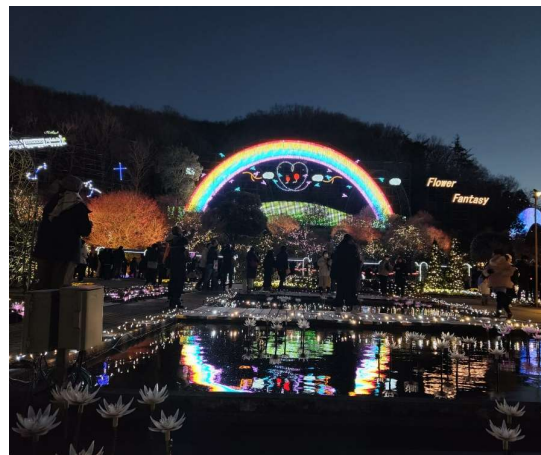
Our next destination of the day was the Ashikaga Flower Park, we arrived a little bit before the sunset, so we decided to stroll around the shop and found a lot of cute merch of various shows and movies. It was really crowded that day and we couldn't take our time to look at



everything. However, when the sun set, we went to watch the flower park which was pretty with the different light shows. The flower park offered something for every age group. I personally liked the Wisteria lights the most. However, I think the park would be more impressive during spring or summer when real flowers and trees are blooming between the lights. This way it looked naked the most time and that's why I didn't take many pictures of the park. On the other hand, I am planning another trip to the Ashikaga Flower Park in spring.

Early evening we made our way back to Fukushima Station and we arrived at around 11 pm.

I wanted to thank the international office for organizing and giving us the opportunity to visit the Nikko Toshogu and the Ashikaga Flower Park. It was a beautiful day with lots of new impressions and experiences.





## Nikko Study Trip

On the 27th of January 2024 (almost) all of the international students at Fukushima University took a study trip to Nikko, which is located about 3 hours away in Tochigi prefecture. The trip was organized by the international office of the University, which we were all very grateful for. It was my first time in Nikko and also my first time in Tochigi prefecture, so I was very excited when it was announced that there was going to be a trip there.



We started relatively early in the morning and it was going to be a long bus trip, so I brought a coffee and my laptop and worked on an essay for a class on the way there. After about two hours, we took an early lunch break at a service station in Tochigi prefecture, which was already the first highlight because we got to look at the local food and souvenirs. For lunch I had Yuzu-Shio-Ramen, which were one of the best Ramen I have ever eaten because I love everything Yuzu flavored. After that I was



convinced to try the Gatcha-machines

for the first time by Japanese friends and it was actually very fun. We hurried back onto the bus and arrived at our first stop, Nikko. The weather could not have been better and on the way there, I kept staring out the window at the beautiful mountains around Nikko and taking photos. In Nikko, after some confusion as to where to go we made our way to the entrance of the extremely famous Toshogu



shrine and on the way there already saw many cute souvenir shops and restaurants. The shrine itself is absolutely stunning and one of the most impressive ones I have seen in Japan, only comparable to some shrines and temples I have seen in Nara and Kyoto. I was very surprised at how glamorous it was and at how much gold there was as this seems to be rather



rare with Japanese architecture. We split up in smaller groups and

went into the main part of the shrine, but only after admiring the famous three monkeys (I love that their names are a pun in Japanese). We saw the statue of Tokugawa Ieyasu and also his tomb, which was very surreal seeing the place such a famous person is buried. Then we also got O-Mikuji of course (I had a very good one!) and went to see the wish-granting cedar tree, which was also really



cool.

## Daytrip to Tochigi

ファルカシュ キッティ

On the 27th of January, thanks to Fukushima University, we visited Tochigi Prefecture. The trip to Tochigi prefecture, particularly to Nikko, offered a rich display of experiences for our group. The journey organized by the university was conducted by bus, providing a unique opportunity for the group to spend time together and collaborate.

At 9 in the morning, we took a bus from Fukushima to our first stop at Nikko. The journey took about 2 hours, mostly everyone was asleep due to the early rising. Our first standout destination was the city of Nikko, a Japanese city rich in tradition and history. Here, we visited the tomb of the shogun, a military leader in feudal Japan. The sight of the shogun's tomb was



awe-inspiring and filled us with deep respect as we gained insight into the rich heritage of Japanese history and culture. The famous Toshogu Shrine is an incredible masterpiece, filled with intricate carvings, colorful paintings, and statues. We've seen the famous "see no evil, hear no evil, speak no evil" monkeys, the sleeping cat and we could hear the echoes of the Nakiryu, which is a painting on the ceiling of the Yakushi Temple at Nikko Toshogu, where if you ring wooden clapper under the dragons head, an echo, similar to a roar fills the air.



Continuing our journey, we participated in an illumination event held at Ashikaga Flower Park, where the beauty of the illuminated flowers came to life in the night. This is one of the three major illuminations in Japan. I'm really grateful that I could've experienced this amazing view. During the illumination, the flowers and various parts of the park were



bathed in stunning lights, creating a magical atmosphere. This spectacular event not only provided visual delight but also captivated our senses, offering a unique experience in the intersection of nature and art. Through the whole day the weather was really nice and warm, but while it was getting darker, the weather cooled down

too. This still didn't stop us from trying the wisteria flavoured icecream offered by the flower park. We were really thinking about coming back there during the flower blooming too in springtime.

Through this excursion, we not only became participants in history and culture but also strengthened our bonds with our fellow travelers. The time spent together, the new experiences, and the unique sights all contributed to creating memorable and valuable experiences.

This trip allowed us to dive deeper into Japan's rich heritage and enjoy its beauty together. I hope this brief summary accurately reflects the exciting and inspiring moments of the journey. Once again, I am very grateful to the International Centre for putting

a lot of effort into organising these trips for us. Thanks to them, I have been able to visit places I might not have been able to visit on my own.



## **University Trip Report: Toshogu Shrine in Nikko and Ashikaga Flower Park in Tochigi Prefecture**

**University trip report by:  
Jonas Pottbrock**

On the 27th of January 2024 we, a group of international students, made a day trip to Tochigi prefecture. We visited the Toshogu shrine as well as the Ashikaga Flower Park on the same day. We first visited the Toshogu shrine, which is famous for the three monkeys, covering their eyes, ears and mouth.



The shrine is located on a mountain and is surrounded by a forest. As we were walking up to the shrine grounds there were other tourists as well, but the place was not overrun by tourists, so it was very nice to explore everything. There have been buildings with carvings of said three monkeys in different poses.



Before entering the main Torii there is a tall pagoda to be seen. The shrine itself, dedicated to Tokugawa Ieyasu, famous for reuniting Japan in the past, showcased a both Shinto and Buddhist influences.



After looking at the buildings in the entrance and court area some of us went a long staircase to the top of the shrine. Beneath the pagoda on top is the mausoleum of said Tokugawa Ieyasu. It is said that his grave has never been opened since he was buried there in 1617. The pagoda is 5 meters tall and made of an alloy of gold, silver and copper.

The many buildings around the are had amazing carvings in golden colors. On

more highlight was the “dragon hall” where the picture of a dragon was painted on the ceiling. The staff told us that when you hit two wooden blocks together right beneath the face of the dragon you could hear an echo in this hall, whereas in any other spot there was no echo to be heard. It also showcased the statues of all 12 zodiac signes depicted as warriors. They also sold lucky charms that provide luck for a lifetime whereas usually lucky charms are limited to one year or so of providing luck. Unfortunately in this hall it was prohibited to take pictures.



Our next stop was the Ashikaga Flower Park. It had many different spots with flowers, illuminations and themed attractions. Some resembled fairytale sceneries, others depicted different seasons. The wisteria tunnels were a highlight, as there were illuminations in different colors.

Unfortunately, since it was the end of January, almost no flowers were blooming so the flower park looked kind of barren in the daylight, but once the illumination started and it got dark it was surprisingly beautiful. Personally, I think that visiting both locations in one day might have been suboptimal since we could only spend a short amount of time at the Toshogu Shrine. There were more buildings we wanted to see, but we did not have enough time.

Secondly, it might have been better to visit the Ashikaga Flower Park at a later time, when the flowers, especially the wisteria, are blooming. It might be best to separate these trips in two different ones, even though the locations were somewhat close to each other.

Lastly, I really appreciated the tour and I think visiting the shrine dedicated to and the grave of one of the most influential personalities in Japanese history was a thing I learned a lot from. I will also definitely visit the Flower Park again, when it is in full bloom!





## 「日光東照宮」と「あしががフラワーパーク」の 「イルミネーション」

この度、日本の歴史と自然美を堪能する貴重な機会として、「日光東照宮」と「あしががフラワーパーク」への日帰り旅行に参加した。この旅は、日本が誇る世界文化遺産である日光東照宮と、「日本三大イルミネーション」の一つとして知られるあしががフラワーパークという、異なる魅力を持つ二つの場所を訪れるという特別な経験を提供してくれた。

まず、日光東照宮の壮大な姿に圧倒された。鳥居をくぐる瞬間から、その荘厳な雰囲気が自分の心を包み込んだ。参道を進むと、立派な社殿がそびえ立ち、そこには徳川家康の霊廟が祀られていることを知った。歴史的な建造物や彫刻、装飾品には、当時の人々の努力と信仰心が色濃く反映されており、それらを見る度に、日本の文化と歴史に対する深い尊敬の念を覚えた。また、境内には美しい庭園も広がっており、季節ごとの自然の美しさが楽しめる点も魅力だった。







次に訪れたあしかがフラワーパークでは、現代の技術と自然の美しさが見事に融合した場所だった。入園すると、目に飛び込んできたのは、色とりどりの花々が咲き誇る広大な庭園だった。特に、有名なウェスタンジャパンエリアでは、四季折々の花々が楽しめ、その美しさに息をのむほどだった。そして、夕方になると、庭園全体が幻想的なイルミネーションに包まれ、まるで夢の世界にいるかのような感覚に陥った。ライトアップされた花々や木々が、まるで踊りながら観光者を迎え入れてくれるかのようなようだった。この美しい光景は、心に深い感動を与え、忘れられない思い出となった。

この日帰り旅行を通じて、日本の歴史と自然の美しさをより深く理解することができた。日光東照宮の厳かな雰囲気とあしかがフラワーパークの幻想的な光景は、心に永遠に残るだろう。これらの素晴らしい場所を訪れることで、私は日本の文化や歴史に対する尊敬と理解が一層深まったと感じている。将来も、このような貴重な経験を積み重ねながら、日本の魅力を世界に伝えていきたい。







## 研修旅行の感想文

ト シザイ

今回の研修旅行は、まず、わたしは日本の文化遺産である日光東照宮に行きました。日光東照宮は、世界遺産である、まるで時間を超えたような体験でした。鳥居をくぐり、石段を上がると、豪華絢爛な建造物がそびえ立っています。有名な眠り猫も見えました。宮殿内部では、豪華絢爛な彫刻や金箔で装飾された天井、壮麗な仏像が訪れる者を魅了します。新年のくじ歴史に触れ、伝統的な美に触れることができる日光東照宮は、日本文化の誇りとなる場所でした。もひとつ、私は日光東照宮の新年のくじ引きで「大吉」を引きました、嬉しいでした。





次の旅はあしかがフラワーパークでした。ここは花と緑に囲まれた美しい庭園で、一歩足を踏み入れると、心が和まれる雰囲気包まれます。特に有名なのは、日本の三大イルミネーションという「光の花の庭」です。これは花や自然、季節感に特化したイルミネーションです。光の虹、藤色の花房、光の壁画、水の反射など、夜になると、ライトアップと花々が相まって、とても美しい視覚的な饗宴が繰り広げられます。



## 研修旅行のレポート

馬冬娟(バ トウケン)

まず、この見学旅行に参加する機会を与えていただいた学校に心から感謝申し上げます。私たち生徒にとって、学校の見学旅行は貴重な体験であり、学びの機会です。

学校のサポートがあってこそ、私たちは素晴らしい経験をすることができました。このような貴重な機会を与えていただき、本当にありがとうございました。

日光の世界遺跡の観光を通じて、歴史的な建造物や文化遺産を訪れることができました。その中でも特に印象的だったのは、古い城や寺院、古い建物でした。これは単なる観光ではなく、歴史や文化に触れる貴重な機会です。なぜかという、歴史的な建築物は、私たちに過去への窓を開いてくれるからです。私は日本の文化が大好きです。だから、日光の世界遺跡の美しい建物を訪れることは、感動的な体験です。古い建物には、その時代の雰囲気や文化が息づいており、建物に足を踏み入れると、まるで時間が止まったかのような雰囲気が漂っていました。その建築は、日本のその時代の精神や美意識を反映し、私たちに日本の過去の栄光を伝えてくれます。

また、古都の建築には豊かな意匠や装飾が見られます。彫刻や彩色された装飾、繊細な彫刻など、細部にまでこだわりが感じられます。これらの装飾は、当時の技術や芸術の粋を伝え、私たちをその美しさに魅了します。





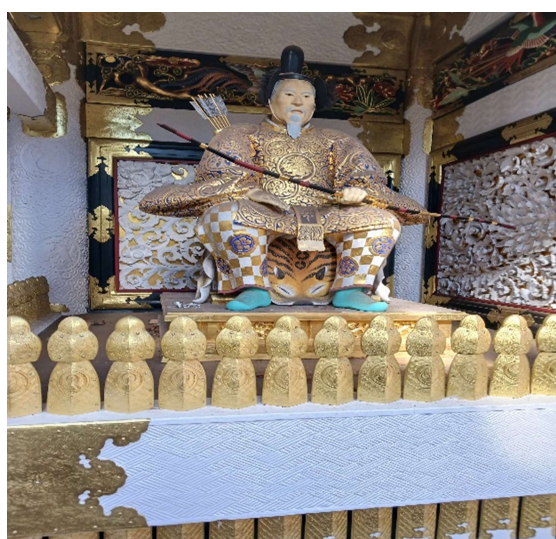
また、光のショーを見たことを通じて、現代のエンターテインメントの中でも特に魅力的なものの一つです。その美しさや独創性によって、心を打ちました。美しい光のショーを鑑賞することは、感動的な体験であり、心に深い印象を残します。夜空に広がる美しい光景は、本当に感動していました。



改めて、このような機会を与えてくれた学校に感謝するとともに、今後もこのようなイベントが開催され、日本文化が広まり、私たち外国人が日本の優れた文化をより深く理解できるようにすることを願っています。

## Report on the Study Tour

ZAFAR USMAN

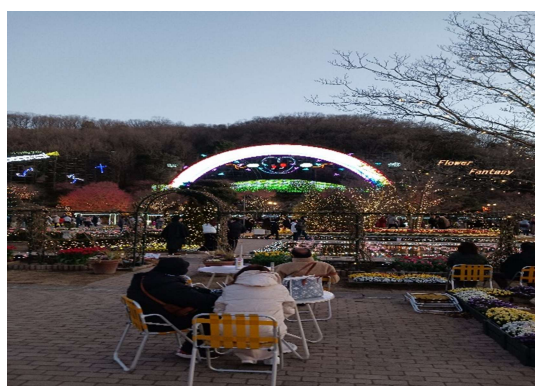


A treasure treasury of Japanese history and culture, the beautiful Toshogu Shrine is tucked away in Nikko's greenery and quiet surroundings. I experienced a wave of reverence as I passed through the magnificent gold torii gate, knowing that I was about to set out on a trip over ages of mystical legacy. I was enthralled with the shrine's architecture at every turn because of its exquisite craftsmanship. Every building appeared to whisper stories of bygone periods, from the intricate artwork on the Yomeimon Gate as well as the tranquil serenity of the Sacred Stable, which is home to the famed 'Sleeping Cat' carving.



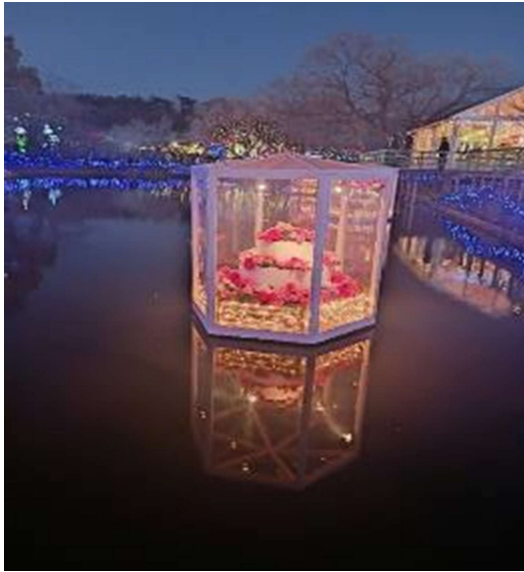
The ultimate resting place of Tokugawa Ieyasu, the fabled ruler whose influence moulded Japan's turbulent past, is located in the centre of Toshogu Shrine. I felt overwhelmed with a sense of respect as I stood before his magnificent mausoleum, surrounded by so much history. My heart was profoundly touched by the encounter, which sparked an immense respect for Japan's rich heritage of culture.

After that, I travelled to the lovely Ashikaga Flower Park, a botanical destination known for its stunning displays of seasonal blooms, leaving behind the quiet surroundings of Nikko. A rainbow of colours and aromas that appeared to dance on the soft breeze welcomed me as soon as I entered this flower magical land.



My attention was drawn to the park's renowned wisteria tunnels right once, where the tumbling vines created an ethereal canopy of beauty. I was surrounded by a sea of purple colours as I strolled beneath their elegant arches, the delicate petals swinging in time with the rhythm of the natural world.





Due to time constraints, it is now time for us to return to our institution. We must depart from this enchanted location in a timely manner in order to reach our International house. I am very thankful to the respected prof. Williams-san, Hasunuma-san and university management who arranged this magical tour. Even though this adventure tour was coming to an end, the experiences and knowledge I've gained will motivate me going forward. Therefore, my admiration for Japan's beauty will never fade. Thank you again for this Amazing Tour.

Best Regards,  
Usman Zafar

## **Nikko Toshogu Shrine and Ashikaga Flower Park: A Journey through Japanese Splendor**

**HOSSEN IQBAL**

My recent journey took me on an unforgettable adventure to the cultural marvels of Nikko Toshogu Shrine and the enchanting beauty of Ashikaga Flower Park. Exploring Japanese history and nature deeply impacted my soul with unforgettable experiences.

My adventure began bright and early at 8:45 am, as I joined fellow travelers at the west exit of Fukushima Station. Anticipation filled the air as we gathered, eager to embark on our journey. At 9:00 am, our bus departed, setting the wheels in motion for a day filled with exploration and wonder.

The scenic drive offered glimpses of Japan's picturesque countryside, with rolling hills and lush greenery stretching as far as the eye could see. Two hours into our journey, we took a delightful lunch break at 11:00 am, refueling our bodies for the adventures that lay ahead.

By noon, we arrived at our first destination: Nikko Toshogu Shrine. Stepping off the bus, we were greeted by the sight of ornate gates and majestic structures adorned with intricate carvings. As we wandered through the shrine's sacred grounds, I felt a sense of tranquility wash over me, enveloping me in a timeless aura of reverence.

My odyssey commenced at the historic Nikko Toshogu Shrine, a UNESCO World Heritage site renowned for its intricate architecture and profound spiritual

significance. Nikko Toshogu Shrine welcomed me with open arms, its majestic gates adorned with intricate carvings and vibrant colors. Stepping through the entrance, I was transported back in time to an era of samurai warriors and noble shoguns. The air was thick with reverence as I wandered through the sacred grounds, marveling at the ornate architecture and tranquil surroundings.

As I stepped through the vermilion gate, known as the Yomeimon Gate, I was immediately captivated by the meticulous craftsmanship and ornate carvings adorning every surface. Each step unveiled a new masterpiece, from the imposing presence of the five-story pagoda to the tranquil beauty of the sacred cedar trees that have stood sentinel for centuries. Nikko Toshogu Shrine was like stepping into a magical world. Everywhere I looked, there were beautiful buildings with intricate designs and vibrant colors. The shrine felt peaceful and sacred, surrounded by tall trees and quiet paths. I learned that the Nikko Toshogu Shrine is a special place because it honors Tokugawa Ieyasu, a famous leader from Japan's history. As I walked around, I saw statues and decorations that told stories about his life and accomplishments. It was fascinating to see how much detail was put into each part of the shrine.





Wandering through the hallowed grounds, I felt a profound sense of reverence wash over me, enveloping me in the aura of centuries past. The tranquil whispers of the surrounding forest mingled with the murmurs of devout pilgrims, creating a harmonious symphony that resonated deep within my being. At the heart of the shrine, I paid homage to Tokugawa Ieyasu, the revered shogun whose legacy is enshrined within these sacred precincts.

At 2:15 pm, we paused for a break at Bendai Nikko Shop, where we had the chance to browse local crafts and indulge in some tasty treats. It was a welcome respite before we continued our journey.

Back on the bus by 2:45 pm, we bid farewell to Nikko Toshogu Shrine and set our sights on our next destination: Ashikaga Flower Park. As we arrived at 4:00 pm, the park welcomed us with a riot of colors and fragrances. Towering wisteria trees draped in cascades of purple blossoms stole the show, casting a spell of enchantment over all who beheld them.

My journey continued to the Ashikaga Flower Park; a veritable paradise nestled in the heart of Tochigi Prefecture. As I entered the park, I was greeted by an explosion of colors that seemed to defy my imagination. Endless fields of vibrant blooms stretched out before me, each petal a testament to nature's boundless creativity.

One of the most amazing parts of Ashikaga Flower Park was the Great Wisteria tree. It was enormous, with long vines that hung down like curtains of purple flowers. Standing beneath it, I felt small compared to its grandeur.

Towering wisteria trees draped in cascades of lavender and violet blossoms cast a spell of enchantment, transporting me to a realm of whimsy and wonder.

At the park's centerpiece, the iconic Great Wisteria, I stood in awe beneath its sprawling canopy, mesmerized by the ethereal beauty that surrounded me. As day gave way to dusk, the park transformed into a luminous wonderland, with the blossoms illuminated by a soft, ethereal glow.

As I bid farewell to Ashikaga Flower Park, my heart overflowed with gratitude for the unforgettable journey that had unfolded before me.

As I reflected on my journey through Nikko Toshogu Shrine and Ashikaga Flower Park, I couldn't help but feel a sense of gratitude for the unforgettable experiences and memories I had gained along the way. From the sacred serenity of the shrine to the kaleidoscopic splendor of the flower park, each moment was a testament to the enduring allure of Japan's rich cultural heritage and natural wonders.

As I bid farewell to these enchanting destinations, I carried with me a newfound appreciation for the beauty and wonder that surrounds us, waiting to be discovered with each step of the journey.

The journey back to Fukushima Station was filled with laughter and chatter as we shared stories of our adventures. By 10:00 pm, we arrived back at the station, weary but content, with hearts full of gratitude for the experiences we had shared and the beauty we had witnessed. As I boarded the train home, I couldn't help but smile, knowing that this day would be etched in my memory forever.





## 日光の旅

オウ ヤフィ

日光は常に日本の観光地として知られていますが、私はこれまで訪れる機会がありませんでした。福島大学留学生後援会がこの旅行の機会を与えてくれたことに、本当に感謝しています。

出発の前夜には、美味しいものをたくさん準備し、日光の美しい景色についてたくさん調べました。この旅行を本当に楽しみにしていました～ 当日の12時30分頃、私たちは日光東照宮に到着しました。超人気スポットだけあって、本当に人が多かったです。バスに乗る時、先生が東照宮の歴史について紹介してくれました。歴史や文化を理解しながらの観光は、理解を深め、記憶にも深い残れます。

日光東照宮に入ると、まず目に飛び込んできたのは、その雄大な石段と壮大な鳥居で、厳かな雰囲気を感じさせてくれました。まるで時を超え、当時の盛大な光景を想像できるようでした。鳥居を通り抜けると、道中には数多くの精巧な彫刻があり、職人の高い技術と創造力を見せつけられ、感嘆せずにはいられませんでした。

特にお気に入りだったのは「眠猫」で、私は元々猫が大好きなので、こんなに厳かな場所に猫の彫刻があることに驚きと喜びを感じました。猫は昔から今まで愛されているんですね！友人たちも何人かが眠猫のお守りを買って、かわいい猫がみんなを安全で幸せに守ってくれることを願っていました。

東照宮では、初めて靴を脱いで本殿に入る特別な体験をしました。殿内に立つと、日本の独特な文化をより深く感じることができました。東照宮は単なる建築物ではなく、日本の歴史を象徴し、日本人の精神世界と価値観を反映しています。



日光東照宮を訪れることは、非常に貴重な経験でした。日本の自然美と精巧な建築芸術を体験するだけでなく、日本の深い文化的背景についてもより深く理解し、尊敬するようになりました。将来的には、世界中の文化を探究し学ぶ機会がもっと多くあり、視野を広げ、人生を豊かにすることを願っています。

東照宮を出た後、私たちは日本で最も人気のある3大イルミネーションパックの一つに向かいました。到着した時はまだ日が暮れておらず、公園はちょっと普通に見えました。記念品店で長い時間を過ごしました。しかし、夜が訪れると、本当に美しかったです！

まずは藤の花のライトで、何千もの光がパーゴラを飾り、まるで紫色の夢の中に入ったような気分になります。風が吹くたび、その「藤の花」はふわりと風に揺れ、息をするのを忘れるほど美しいです。

水の中には睡蓮も咲いていて、光と水の組み合わせがこんなに美しいのは初めてで、こんな花の海の中を歩いていると、すべての悩みを忘れてしまいました。イルミネーションのあるディズニーランドに来たみたいで、とても幸せです。

今回の日光旅行は最高でした、帰りの車ではみんなで歌っていましたが、とても嬉しかったです！旅行の機会を与えてくださった福島大学留学生後援会の皆様に改めて感謝申し上げます。





## 2024 年 1 月 27 日 研修旅行感想文

312210102 食農学類 2 年 山崎 愛奈(引率補助学生)

まず、留学生の引率補助学生としてこのツアーに参加させていただいたことに感謝申し上げます。国際交流に熱意が向上したとともに、母国の歴史を学ぶ有意義な時間を過ごすことが出来ました。

### 〈日光東照宮〉

バスで、福島駅から日光東照宮へ向かいました。途中、サービスエリアにより参加者みんなで昼食を済ませ目的地につきました。バス内では、先生が日光東照宮の歴史を一通り説明してくださり留学生は興味津々で話を聞いておりました。その姿を見ていて、私自身より日本の歴史や文化を学び国際交流の場で母国について話せるようになる必要があると感じました。



日光東照宮につくと、徳川家康公の銅像の前で留学生と写真を撮ったり、大きな鳥居の前で集合写真を撮ったりとたくさんの写真を撮りました。写真にうつる学生のみなさんは楽しそうな笑顔が感じ取れます。豪華な陽明門は真近で見ると圧倒されました。また、眠り猫の前ではウィリアム先生が、なぜ眠り猫が「平和の象徴」であるのかというエピソードトークを聞かせてくれました。

### 〈あしかがフラワーパーク〉

華やかな装飾ときらびやかなライトアップは非常に魅力的でした。外が明るいうちに屋台で夕食を済ませました。自由行動だったのですが、外にある机と椅子に自然と留学生同士が集まってみんなで座って外で温かいご飯を食べた時間はとても心地よく最高の時間でした。その後、ウィリアム先生が研修旅行で自ら開催した写真コンテストに向けて写真を

撮りながらパークを1周回りました。制限時間約2時間ではあまりにも足りないほど充実したパークでした。

〈まとめ〉

大勢の留学生とともに研修旅行に参加したこの経験はとても有意義な時間になりました。ただ、旅行に行くのではなく英語で会話する機会があったのはもちろん、外から“日本”を見る学生とともに歴史を学ぶことができたことは貴重であり自分の中の世界を広げることが出来ました。この度は、貴重な機会をくださりありがとうございました。これからも国際活動に励みたいと思います。





## 日光、足利フラワーパーク研修旅行に行ってきました！！

南 弥恵(引率補助学生)

今回の旅行は引率補助の日本人サポーターとして参加させていただきました。引率補助とはいえ、日本人サポーターにとっても、日本が誇る歴史的建造物や美しい観光地の数々を留学生との交流を深めながら一緒にめぐることができるとても楽しく充実した旅行でありました。日本で大学生生活をしているうちでここまで海外の方々と接する機会は今までなかったため話しているうちにわかった考えや視点がどれも新鮮で、国際交流って楽しいな！と思いました。また、そのような新しい視点に触れることや楽しそうに興味津々に観光をしている留学生を見ると、いつもだったら身近過ぎて感じることはできなかった自分が住んでいる日本という国のすばらしさに気付かされることもあり面白いなと感じました。これからも部活（剣道部）で一緒に留学生や今回の旅で仲良くなった留学生といろんな思い出を作っていきたいです。とても良い旅にすることができました。ありがとうございました！



地味にヨonasさんも映っています





徳川家康と6ショット



二荒山神社

恋に頭を悩ませている三人で恋みくじを引きました



東照宮の階段でバテている二人



## 7 2023 年度の会費収入と使途について

2023 年度は、151 名の会員の皆様に外国人留学生後援会に加入していただき、586,000 円の会費収入がありました。

外国人留学生後援会では、会員の皆様から頂いた会費を、留学生に対して物心両面から援助することを目的とし、以下の 4 つの事業に活用させていただいております。

今後も皆様からご支援をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### ① 留学生への生活資金の貸与

(期限 1 年 : 最大 5 万円、貸付け前の審査有り)



交通事故や入院による急な支出が必要となった留学生や、勉強が忙しいため、アルバイトをすることができない留学生を支援します！

### ② 『留学生住宅総合補償』加入金補助

アパート入居時の保証人がいない留学生に対して行う機関保証



大学が機関保証をすることで、留学生がアパートの賃貸契約を行うことができます！

### ③ その他（留学生交流イベント等への費用助成）



新入留学生歓迎会や留学生研修旅行を行っています！

